



CONTENTS

● ヤマトグループTOPICS

● トップインタビュー

「スローガン『新しい街へ。新しい毎日へ。』に込めた思い」

ヤマトホームコンビニエンス株式会社 代表取締役社長 市野 厚史

● ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」活動報告

● 新着情報



ヤマトグループTOPICS

ヤマトグループ各社、各地域、環境への取り組み、今後の予定などを「一行ニュース」でお知らせします。

ヤマト運輸

- ・ 釜石警察署と連携し、被災地での犯罪や孤独死を防止する見守り活動を開始(岩手県・6月～)
- ・ 東北へ“ゆいまーる(助け合い)”の心を届ける広告が沖縄広告協会広告賞で金賞を受賞
- ・ 交通安全の知識を伝える「こども交通安全教室」参加人数200万人突破
- ・ 宅急便を送っても・受け取ってもポイントがたまるクロネコポイントキャンペーンスタート(8月6日～)
- ・ 栃木県産野菜を販売支援。銀座で「栃木復興再生スワン市」開催(東京都・8月25日)
- ・ 第5回離島甲子園に協賛。荷物配送の協力、タオル・メッセージ入りのぼり旗を贈呈(八丈島・8月27日～)

ヤマトロジスティクス

- ・ 九州の13名の窯元が陶芸作品を出展する展示販売会「クラフト展」を開催(東京都)
- ・ 企業の海外進出をサポートする！海外生活アドバイザーによる赴任家族向けセミナーを開催(大阪、神戸)

ヤマトホームコンビニエンス

- ・ 「単身引越サービス」ラインナップ拡充。家具・家電レンタルを組合わせた社会循環型引越を提案(8月1日～)
- ・ 「クロネコらくらく おかたづけサービス」発売。清掃、整理、リサイクルから遺品整理まで提供(8月1日～)
- ・ 十勝産の食品、農畜産物をその日に東京へ。販路の拡大を支援する取り組みを開始(帯広市・7月～)
- ・ トラックの死角や横断歩道で気をつけて！「こども交通安全教室」を開催(北海道・5月)
- ・ 耐震補強から防災グッズ、食料・水の定期補充まで。地震対策支援を開始(愛知県・3月～)

ヤマトシステム開発

- ・ 物流管理システム初！ASP・SaaS・クラウドアワード2012「海外展開賞」を受賞！(6月20日)
- ・ 高齢者向けに地元スーパー・自治体と連携し、専用端末によるネットスーパー事業を展開(富山県・7月～)

ヤマトフィナンシャル

- ・ 全国に散らばった同窓生の負担を軽減させる。県内高校の同窓会運営をサポート(新潟県)
- ・ 浜松からアジアへ！みかん農家の安定収入を実現する高品質農産物販売システムを提供開始(静岡県・5月～)

ファインクレジット

- ・ 社名を変更。ファインクレジット(株)からヤマトクレジットファイナンス(株)へ(8月1日～)



トップインタビュー

ヤマトホームコンビニエンス株式会社 代表取締役社長 市野 厚史

スローガン「新しい街へ。新しい毎日へ。」に込めた想い

当社の主力事業は3つあります。引越し、輸送とセッティング、そして産地直送品などの物販です。新しく作った「新しい街へ。新しい毎日へ。」というスローガンは、「新しい街へ。」が移動、つまり引越しです。これは従来にも増して販売を強化し、単身引越市場での「ダントツナンバーワン」、家族引越を含めた引越全体でもシェアNo.1を目指していくという意味合いを込めています。「新しい毎日へ。」は、新生活・移動後の新しいライフスタイル・サービスを提供するということ。これは、ヤマトグループの一員として、お客様の生活、そして人生にもっと密着し、一人ひとりの新しい毎日を生涯に渡り応援していきたい。そのために、新商品・新サービスを積極的に展開していく、そんな想いを込めたスローガンです。

キーワードは「イエナカ」と「おさがり」

キーワードは「イエナカ」と「おさがり」です。「イエナカ」は言葉通り。人生に3回あるかないかの引越しだけではなく「家の中」のこすべてに関わっていく。イエナカには清掃もあれば、模様替え、整理整頓、廃棄、リサイクルから遺品整理まであらゆるニーズがあります。子育て世代には子育て世代の、老後世代には老後世代のニーズがあります。

「おさがり」は社会的循環とも言えます。たとえば子どものいる家族。子ども用品は使う期間がとても短く、そのたびに新品を買っていると「もったいない」。新しく始める「単身引越サービス(少量タイプ)」も同じです。ひとり暮らしの限られた期間で、家具や家電を買っていると「もったいない」。

今もレンタルやリサイクルなどがありますが、私たちはひとつのサービスや物、あるいは世代などにとらわれず、あらゆるライフスタイルと、変化するライフステージすべてにおいて、社会循環型サービスを提供していきたい。そう考えています。

生活を整えたい人のための生活支援サービス

当社ではこの度2つのキーワードをコンセプトの中心に置いたサービスを新たに開発し、8月1日から販売を開始します。これは、年齢や性別などを一切問わない、毎日の生活を整えたい、今を生きる人のためのワンストップサービスです。

サービスの名称は「クロネコらくらく おかたづけパック」にしました。

「おかたづけ」に関わる様々なサービスをパックにしたワンストップサービスと、これまでにないわかりやすい部屋単位の料金設定が特徴です。

故人の遺品整理を請け負う「メモリアル整理サービス」もあわせて発売することで、お客様の不安感を解消し、多様なニーズに応えながら、新しいマーケットを切り開いていきます。





2050年の内需型産業のフロンティアを目指す

21世紀になり、消費に対する価値観は大きく変わりました。モノを「消費・所有すること」ではなく「達成すること」に価値を感じる人が増えているのもそのひとつです。少子高齢化も急ピッチで進みます。イエナカが充実することの重要性は都市部も過疎地も変わりません。都市には都市のニーズが、過疎地には過疎地のニーズがあります。



イエナカのニーズに応え、もったいない精神で社会的循環とも言うべき「おさがり」の輪を広げていくことは商売を通じて社会的課題の解決に取り組むことに他なりません。

そして、それは“地域社会に密着した生涯生活支援プラットフォームの確立”を目指すヤマトグループだからこそできることだと思います。ヤマトのDNAと言っていいかもしれません。

商売という面で言えば「おかたづけ」市場はすでに800億円弱に達していて飽和状態という見方もあります。しかし、当社では潜在需要はその約5倍、4,000億弱と推計しています。2050年には総人口の3,000万人が減るとも言われているこれからの日本において「おかたづけ」は欠かせません。私たちはそうした新しい内需型マーケットでNo.1を目指したい、そう考えています。

【ご報告】「宅急便ひとつに、希望をひとつ入れて。」活動

ヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」、ヤマト福祉財団の「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」の募金と助成の応募は終了しましたが、被災地の復興・再生は着実に進んでいます。昨年8月に第1次の助成先を決定以降、第5次にわたるまでの助成先の近況をご報告します。

「宅急便ひとつに、希望をひとつ入れて。」サイト

URL: http://www.yamato-hd.co.jp/information/info/contribution_1104.html

相馬市の「農地復旧復興(純国産大豆)プロジェクト事業」が始動(第4次助成)

6月1日、大豆の生産と販売による農業の発展を目指す相馬市の3地区の農業法人に対する農業機械交付式が行われました。当日は、相馬市及びヤマト福祉財団より計18台のトラクターが受け渡されました。

これにより、個人では導入することが困難な農業機械を無償で貸渡し、地域で立ち上げた農業法人が、共同作業・共同経営をすることで被災した農地の早期の復旧復興、地域農業の再建を目指します。



陸前高田市の「竹駒保育園の新設・再建事業」が開始(第3次助成)

7月30日、被災した保育所を安全な高台に再建する本事業の地鎮祭が行われました。海から6キロメートルも離れた場所にある竹駒保育園は、川を逆流した津波により建物が大規模半壊しました。そのため、現在も仮設園舎で園児40名の保育を行っています。新施設は、園児70名(定員)、職員18名を受け入れることができ、来年1月に完成予定です。





新着情報

【ヤマト運輸】 アジアへ翌日配達。沖縄が国際宅急便のハブ(結節点)に！

6月4日、木川(ヤマトHD)、山内(ヤマト運輸)の両社長が沖縄県庁を訪問し、沖縄県の仲井真知事と面談しました。日本とアジア各国の貨物ゲートウェイを目指す那覇空港における、深夜便を含む豊富な航空ネットワーク、24時間通関、保税倉庫などの機能と施設を活用した「アジア圏ドアツードア貫輸送プラットフォーム」の事業計画を伝えました。今年度中には、「宅急便」を展開しているアジア各国への翌日配達サービスがスタートする予定です。



【ヤマトコンタクトサービス】 8月に、地域の産業振興、雇用促進を目指したコールセンターを開設(鳥取県鳥取市)

7月23日、平井鳥取県知事、竹内鳥取市市長が出席のもと、ヤマトコンタクトサービスが開設する「鳥取インテリジェントコンタクトセンター」の開所式を行いました。ヤマト運輸の中国地方コールセンターを高度化・集約化させるほか、8月1日より、中国地方における市内企業の受発信代行や事務代行を行うコールセンター運営等のテレマーケティング業務を開始します。今後は、地域の産業振興、雇用促進(5年間で250名採用予定)、地域活性化を目指し、鳥取県・鳥取市との連携をさらに強化していきます。



【ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ】 メーカーのお客様相談室向け「返品・交換サポートサービス」の提供を開始

メーカーのお客様相談室が行っている購入者からの商品の返品・交換業務を効率化するサービスとして、5月29日より提供を開始しました。専用のWEBシステムを通じて回収指示をされたヤマト運輸のドライバーが、梱包資材を持参して購入者宅に引き取りに伺います。サポート業務を一括してヤマトグループで行うため、メーカーは運送業者への回収依頼や回収状況の確認の電話のやり取りが不要になり、代替品との同時交換も可能になります。また、購入者は伝票への記入や梱包資材の準備などの手間が不要になります。メーカーと購入者の双方にとって便利で迅速かつ確実な回収を実現します。

お知らせ

【ヤマト運輸】クロネコメンバーズ5周年キャンペーンを実施中

個人会員制サービス「クロネコメンバーズ」が5周年を迎え、キャンペーンを実施中。

第1弾は、オリンピック日本代表応援キャンペーン。北島康介選手オリジナルTシャツなどロンドンオリンピック日本代表を応援するグッズが抽選で当たります(8月12日まで)。第2弾は、宅急便を送っても受け取ってもポイントがたまるクロネコポイントキャンペーン。海外旅行ツアーへの応募や、本キャンペーンでしか手に入らないヤマトオリジナルグッズがもらえます。(2012年8月6日～2014年2月28日)

※ヤマトグループは、JOCオフィシャルパートナーです。

